

## 2018アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [ 観音寺市立観音寺小学校 ] 担当教諭名 [ 近藤 弘子 ] ( 5年2組 29名 )

相手国・地域 [ ペルー ]

海外学校名 [ IEP Gakusei ] 担当教諭名 [ Franco Antonio Chacon ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	アートマイル国際交流	12
	外国語活動	できることを紹介しよう	6
	図画工作	自己紹介カードを作ろう 絵をぬろう	4

### ■作品に込めた想いについて教えてください。

<b>題 (テーマ)</b>	美しい太平洋を未来に残そう
<b>メッセージ</b> (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	おたがいの国の環境を見直すことで、それぞれの自然や文化のすばらしさを再認識し、おたがいの文化を理解し、大切にしながら、未来に向けて太平洋を中心としたよりよい地球環境をつくっていかうとする。



### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球の離れた国同士が、環境を守るためにいろいろな取り組みをしていることを理解した。</li> <li>・互いの国の自然やそれに関わる文化のすばらしさを理解しあうことで、地球に住む人が、どこでも美しい地球を残そうとしていることを理解し、環境保全への意識を高めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スカイプによる交流にもっと取り組んだらよかった。</li> </ul>

### ■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほとんど知らなかったペルーが、自己紹介カードの交換や写真での交流などを通して、身近な存在となった。国際的なニュースなどにも関心をもち、ペルーへの理解が深まった。</li> <li>・3クラスが違った国と交流し、掲示等でその様子を伝え合ったので、異国に対する興味や関心が高まった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真や壁画による交流を通して、児童と一緒に楽しんで取り組めた。</li> <li>・ペルーへの理解が深まり、仲間意識が高まった。テレビでペルーが出ると、興味をもって見たり、調べたりできた。</li> </ul>

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	9月 10月	自己紹介カードの交換で学校紹介を行った。	初めは英語での自己紹介を行った。好きな食べ物や学校のよさを伝えたいという気持ちで楽しんで紹介ができた。	総合2 外国語4
共有 テーマ学習	9月 10月	お互いの文化について、調べ学習を進めた。	日本とペルーを比べることによって、お互いの文化の違いやよさに気付いていった。そして豊かな自然と人々の思いによって培われてきた日本文化のよさを再認識した。	総合6
融合 想いを形に ・メッセージ ・壁画デザイン	11月	それぞれの文化の特徴を紹介しようということになった。	日本や自分の地域の文化のよさを絵を通して伝えようと話し合って決めた。	総合2 図工1
創造 壁画制作	12月	壁画の構図について等、細かい内容について話し合い、決定した。	下描きから彩色まで、全員が積極的に取り組み、楽しみながら丁寧に仕上げることができた。	図工5
評価 振り返り 自己評価	3月	校内の目立つ所に掲示し、全校生が鑑賞できるようにした。	3クラスがそれぞれ違った3つの国と交流し、その壁画を一斉に掲示したので、国による違いを感じているようであった。	総合2

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価（5:とでもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった）

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	4	何をどう表現したら相手に伝わるのかを考え、調べ直すことで理解が深まった。
異文化を理解する力	4	相手の国を調べることで、相手との異同に関心をもち、理解を深めようとした。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	4	日本の文化や環境の特徴をペルーと比べることで、文化の違いを感じた。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	4	自分たちの学校や地域を紹介する上で、英語を話す必要感をもって発表の準備ができた。
批判的に思考する力 (客観的・批判的視点)	3	相互の文化の異同から「なぜ違うのか」「なぜよく似ているのか」と疑問に感じ、考えることができた。
主体的に考え行動する力	4	ペルーへの興味が深くなり、自主的に調べようとした。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	4	彩色の際には、自分のパーツにこだわりをもちつつ、全体の色合いに気を配りながら作業ができた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画デザイン)	3	構図や彩色では、どうすれば相手国に日本文化や環境がよく伝わるのか工夫しながら取り組むことができた。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	4	互いの自然や文化の異同に気づき、これから一緒にどのような未来を築いていけるか考えた。